

2015年10月



ふるさとの宝 大塩川 大滝

会津盆地の北東縁の高曽根山が源の大塩川にある大滝。せり出した15m以上の大岩が水の勢いで丸くなりまるでトトロの顔のよう。雪解け時には大瀑布となり、流れ落ちる音が谷に響き渡ります。



昭和28年に「大塩一細野」の道路開通、昭和30年には「喜多方一細野」までバスも運行されるように。その道ぞいにある大滝。狭小な谷あいに行く当時のバスの中では、眼下に見える大瀑布に歓声が上がったことでしょう。

その後次々に裏磐梯への観光道路が開通し平成4年の桧原ビューラインの開通を機に県道は通行止めとなり、大滝を見る機会は少なくなりましたが、この大瀑布はふるさとの宝としてそこにあり続けています。



ラムサール条約「潜在候補地」裏磐梯湖沼群・猪苗代湖
(画像提供：磐梯山ジオパーク協議会様「磐梯山ジオアート」)

裏磐梯 エコツーリズム 協会の考え方

裏磐梯エコツーリズム協会は、「人と自然」「人と人」のつながりを取り戻し、地域の自然や文化を守りながら伝え、地域全体が元気になるような新しい観光と地域作りを進めます。

ラムサール条約についての勉強会 開催

1980年、日本はラムサール条約に加入しました。現在(2015年10月)の条約湿地は50か所です。環境省は2010年ラムサール条約湿地候補地検討会を開催し、国際基準を満たすと認められる湿地を幅広く「潜在候補地」として172か所を選定しました。そのなかで、裏磐梯湖沼群(生物地理区東アジアを代表する湖沼)、猪苗代湖が選ばれています。このことを地域住民として受け止め、皆さんと一緒に学びたいと思います。より深く学べるよう福島大学の黒沢先生を講師にお招きします、ぜひご参加ください。

日時：11月4日(水) 13:30-15:30
場所：休暇村裏磐梯 天文台ホール (玄関左)
講師：黒沢 高秀 先生(福島大学)
参加費：無料

報告 企業研修にてウチダザリガニ調査駆除活動

10月3日、弊会の賛助会員である(株)ニチレイさんの環境をテーマにした研修にて、昨年に引き続き「特定外来生物ウチダザリガニの調査駆除活動」に取り組んでいただきました。場所は曲沢沼上流域。10月に入り裏磐梯の気温はぐぐっと下がり、紅葉も進みますが水温も低くなっています。ウチダザリガニの動きが鈍くなっているのではと心配でしたが、結果40匹を調査、駆除できました。昨年同時期に同調査に取り組んで頂いた時、抱卵した個体が見つかったので、今年はその卵を数えるためのピンセットも用意して臨みましたが、抱えた卵が未熟で数えられませんでした。とこのように継続した調査活動から見えてくることもあるかと思しますので、来年再来年・・・とご一緒に実施できたらと思います。ニチレイの皆さん、ありがとうございました。



★講座の参加申込・お問合せ 電話 0241-23-7860
メール info@eco-urabandai.com

※締切りは講座の前日。準備等ございますので予めお申込みをお願いします

裏面もご覧ください

「ばんだいの宝発見講座」

「ばんだいの宝発見講座」とは、皆さんと共に磐梯の宝をたくさん発見していく活動です。

この講座では、観光地としての魅力（自然・歴史・文化・人材）を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動を通して“質の高いサービスの提供（おもてなし）”を可能にする事を目的とし、住民総ガイドを目指しています。

講座には、どなたでも参加できます。ぜひ一緒に磐梯の宝を再発見・再認識いたしましょう！



源流域裏磐梯の水を守ろう！

「飲み残しゼロ運動」展開中！

ペットボトル、缶コーヒーなど、日頃つい残してしまう飲み物を流してしまうと、きれいな水に戻すにはその数倍の水を必要とします。油だけではなく、ふだんの飲み物にも気を遣いたいですね。ご協力お願いいたします。



【実施報告】ばんだいの宝発見講座 植物・初歩の初歩講座

9月1日、福島大学大学院の根本秀一氏を講師に、山口さんを助手にお迎えして開講。平日にも関わらず、植物好きの方、裏磐梯で活動されているガイドさんも多く参加くださいました。

「植物とは」から始まった講義は、ちょっとしたクイズも交えつつ、先生の優しい語り口で進みました。前回（夏休み自由研究おたすけ講座）の標本作りでは「植物の学名のラベル」をつけましたが、今回は、その学名の付け方にルールがあることや、分類学も進化して変更されたりしなかったりする・・・ということも教わりました（意外にファジーなんだと感じたのは筆者だけでしょうか）。

さて、そんな座学の後には、小雨の中でしたガレンゲ沼を一周しながらの野外観察。先生がいらっしゃるということもあって、見分けにくい、つまりよく似ている植物が現れると「どこを見るの？違いは何？」と識別ポイントを知りたい熱意で雨なんかどこかへ行ったようでした。水の中の植物にも触れ、他の地域では絶滅危惧されるものが裏磐梯ではまだ健在でありその保全が重要であるというお話をうかがいました。また、いつもなら通り過ぎてしまうような、見慣れて知っているつもり植物でもふとした「？」が生まれ、そこから様々な質問が飛び交ったりして、気が付けば2時間あまりが経っていたのでした。ゆっくりじっくりと植物とむきあう観察を通して、自然のしくみやその多様性も実感できるものだと改めて感じましたが、参加者の皆さんにとってはいかがだったでしょうか？



エコツアーカフェ「地域のモニタリングを知ろう」報告



9月29日、平成21年度より弊会で取り組んでいる9項目のモニタリング調査の内容について、共に暮らす地域の皆様にも知っていただけるような情報交換できるよう、気軽なカフェ形式で開催しました。

参加者からは「裏磐梯で特定外来植物の種類が増えているようだが知らないことも多いので調査だけではなくチラシ等での告知や情報提供がもっと必要では」とのご意見をいただき、いろいろ愉快的な案も頂戴しました。

調査担当者からは、固定した調査者だけでなく、興味関心のある方にも気軽に調査へ参加してもらえる仕組みについての意見があがり、今後の取り組みに向けて検討していきたいと思っております。

今回、「ラムサール条約湿地潜在候補地」についても話題提供しましたが、今後も引き続きテーマとして取り上げていきますので、一緒に学んでいきましょう。

裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字小野川原1092-65
TEL:0241-23-7860 携帯:080-2827-1687 FAX:050-7541-2411
Mail: info@eco-urabandai.com
http://www.eco-urabandai.com

